



2019-20 年度地区方針「グローバルに考え 地域社会とつながり ロータリーを成長させよう」

本日 第2353回 2019年11月1日(金) No. 2235

本日のプログラム Today's Program 卓話担当者:米山記念奨学委員会

点 鐘 12:30

卓 話 者:地区米山記念奨学委員会 副委員長
小栗 正章 君(名古屋和合RC)

斉 唱 「君が代」

演 題:「ロータリー米山記念奨学事業について」

前回 第2352回 2019年10月25日(金) 記 録

○出席者: 会員 25 名中 19 名出席 出席率 76.00%
○来訪者: 地区研修委員会 副委員長 古田 嘉且君

会長あいさつ 加藤 清久



本日は、熊澤さんの入会式と古田さんの卓話の時間がかかりますので、私の挨拶は、割愛させていただきます。

先月は、経済の話が中心でしたので、今月は、私の尊敬する人物を紹介して、少しでも皆さん歩まれる人生の参考になればと思っています。

幹事報告

- ・10/20(日)瀬戸 RC 創立 60 周年記念式典
於名古屋観光ホテル 加藤会長,舟橋幹事,山田ガバナー補佐 出席
 - ・10/21(月)臨時 WFF 実行委員会 於ガバナー事務所
山田地区米山記念奨学委員長 出席
- 次回の会合: 第 8 回理事役員会 於尾張旭市商工会館内 第一会議室 13:40~

ニコボックス

○本日は、卓話でお世話になります。つたないお話ですが、よろしく願いいたします。

地区研修委員会 副委員長 古田 嘉且君(江南 RC)
○地区研修副委員長 古田様、本日は大変な雨の中誠にありがとうございます。卓話をどうぞよろしくお願いいたします。

加藤 清久君、舟橋 龍秀君、飯田 幸雄君
岡本 和士君、西尾 輝久君、古橋 裕志君
箕輪 良孝君 宮本 友未君、森井 晴生君
山田 直樹君

○熊澤功さん、ご入会おめでとうございませう。今後共よろしくご交情のほどお願いいたします。

加藤 清久君、舟橋 龍秀君、飯田 幸雄君
西尾 輝久君、箕輪 良孝君、森井 晴生君

○本日から入会させていただきました。よろしく願い致します。熊澤 功君

○新会員、熊澤功君、ようこそ。これからはロータリーを充分楽しんでください。古橋 裕志君

○熊澤さん、ご入会おめでとうございませう。一緒に楽しみませう。松永 洋子君

ロータリー財団月間

	11月10日(日)	11月15日(金)	11月22日(金)	11月29日(金)
例会予定	(8日振替分) RI 第2760地区大会 ホストクラブ:名古屋清須RC 於:ナゴヤキャッスルホテル	卓話担当者:ロータリー財団委員会 卓話者:地区ポリオプラス/職業研修委員会 副委員長 青山 貴彦君 演題:「ロータリー財団の多様性について」	卓話担当者:森 和実 尾張旭市長 (名誉会員) 卓話者: 〃 演題:「未定」	休会 (定款による)

○新会員として熊澤功君をお迎えすることができました。大変うれしく思います。今後のご活躍を期待します。

山田 直樹君

○先週のセミナーでは、ありがとうございました。
田中 祐子君

苗木配布

日時：2019年10月15日(火) 10:00～

場所：尾張旭市役所 1階ロビー



尾張旭市民祭中止のため、別日にてキンカン苗木を先着200名様へ配布致しました。



新会員入会式



会員名：熊澤 功君(右)

職業分類：建設業—塗装・防水工事業

卓話



ロータリーは世界を

2019-20年度

「ロータリー雑感
—新会員研修に因んで—」

地区研修委員会

古田 嘉且(江南RC)

本日は、尾張旭ロータリークラブの例会に、お招き頂き有り難うございます。

皆様の貴重なお時間を拝借いたしますので、出来る限り要点を纏めてお話させていただきます。

本日の卓話が、新会員の皆様にとって、ロータリ

ー的思考や用語を知るための参考になれば幸いです。
でございます。

ロータリーは、1905年2月23日に、アメリカ合衆国イリノイ州シカゴの一青年弁護士であった、ポール・P・ハリスが始めた運動です。職業人の寂しさ、心の渇きを癒すために、心から信じあえる友を求め、3人の仲間とロータリークラブを作りました。それは、まさに親睦と相互扶助だけの世界でした。

さて、現在、世界には、120万人以上のロータリー会員(通称ロータリアン)がいます。そして、200以上の国と地域で、2019年6月現在、クラブ数約36,000クラブに達しています。世界各国のクラブ数では、アメリカが約7,600で第1位、日本は、世界第4位です。

世界中の各々のロータリークラブが、会員となって形成されているのが、国際ロータリー(RI)であり、RIの管理上纏められた一群のクラブの所属する一定の地理的区域が地区。地区は、いくつかの分区に分かれており、ガバナー補佐が管理しています。

2019年6月時点で、日本のロータリアン87,544人、2760地区4,822人。

2760地区は、8分区に分かれ、南尾張分区7クラブ、西尾張分区9クラブ、東尾張分区12クラブ、西名古屋分区13クラブ、東名古屋分区12クラブ、東三河分区12クラブ、西三河中分区11クラブ、西三河分区9クラブ、合計85クラブがあります。

そして、クラブには、定款と細則という決まりがあります。定款とは、国際ロータリーによって作られた決まりです。定款は、規定審議会で制定されますので、クラブで変更することは出来ません。

一方、定款に記載されていない事項のクラブでの決まりを細則と言いますが、定款にすることは、出来ません。

ロータリーの会合について述べさせていただきます。まず、クラブの会合としては、例会、年次総会、ガバナー公式訪問、ガバナー補佐訪問、クラブアッセンブリー、クラブフォーラム、クラブ理事会、各種委員会会議、などがあります。

また、分区の会合には、インター・シティ・ミーティング(IM)、地区の会合には、地区大会、地区研修・協議会、次期会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区クラブ委員長会議があり、国際的な会合には、国際大会、国際協議会、規定審議会などがあります。

さて、最近のロータリーは、私が入会したころのロータリーとは、少し違ってきているなど感じるようになりました。しかしながら、やはりロータリーは、基本に還るべきであると思います。

いずれにしても、今後は、柔軟性を持ち、各クラブで決定していく事項が増えていき、どのような方向に自分たちのクラブを導くかが、大切になると思います。ご清聴、ありがとうございました。